



じりっ「自律と自立」

指 宿 高 等 学 校

進路指導部 1・2年7号, 3年8号

発行日 令和2. 11. 5 (木)

10月から総合的な探究の「柏葉」において、1年生は社会問題プレゼン、2年生はI・s t y l e (分野別)に取り組んでいます。3年生においては、入試に向けて小論文指導、面接指導を受けている生徒もいます。今回は小論文の基本について確認していきましょう。

■ なぜ、小論文が大学入試で出題されるのか

小論文試験を課すことで、大学で学ぶための総合的な能力があるかどうかを判定することができます。つまり、希望する大学の学部・学科で学ぶために必要な「知識・理解力・分析力・構想力・表現力」があるかどうかを試すことが、小論文試験の目的です。したがって、受験生はペーパーテストだけでは示せないような「自分こそが、この大学・学部・学科に入るべき生徒である」ということをアピールできる重要な試験となります。

大学を卒業する際には、「卒業論文(卒論)」が必要になります。また、そこにたどり着くまでに、さまざまな講義(授業)でレポートを作成することになるでしょう。小論文試験は、受験生が卒論やレポートを作成できる基礎力や潜在能力があるかどうかを試す場でもあります。

■ 小論文を書くときの4つのポイント

- ① 課題の要求に正確に答える
課題が何を問うているのかを正しくおさえる
- ② 自分なりの意見(主張)をはっきりと述べる
「私はこう考える」と主張する
- ③ 意見の根拠を筋道立てて述べる
自分は「なぜそう考えるのか」を説明する
- ④ 一貫した主張でまとめる
主張に矛盾が生じないようにする



※ 採点者が一番見たいところは、結論に至るまでの思考です。説得力のある内容で書くことが大切です。

■ 小論文に備えて今からできること

- ① 世の中の動きに目を向ける
普段から社会の動きに関心を持ち、新聞の見出しや気になる記事を読んだり、ニュースを見たりする習慣を身につけましょう。その際、「その問題にはどのような背景があるのか」「どうすれば解決へと導くことができるのか」ということを考える習慣をつけましょう。
- ② 普段から書く癖を身につける
「向上の道」のコメント欄などを活用するのもいいですね。継続することで思考力、表現力が身につきます。社会の出来事や身の回りの出来事について感じたことを、簡潔に、できる限り漢字を使って書きましょう。また不適切な表現がないか、確認するようにしましょう。
- ③ 普段の教科の学習を大切に
例えば、課題文を読む際には「国語」や「英語」で身につく読解力が、扱われるテーマの理解には「地歴公民」で学んだ知識が、理系の小論文では「理科」「保健」「家庭科」などの知識が生かされます。グラフの読み取りなど「数学」的な思考力も求められます。
- ④ 進路室には、各大学等の入試問題(小論文)がまとめてある冊子があります。ぜひ、1度見に来て、どのような問題(話題・時間・字数)なのか調べるきっかけにしてください。

■ 小論文を書くプロセス

- ① 課題の論点（テーマ）を正確に読み取る
「何について書くのか」をまず押さえる。
- ② 論点に対する自分の考えを明確にする
自分の意見をいろいろメモしてみて、最も強く主張したいと思うものを選ぶ。
- ③ 自分の主張の根拠を集める
自分に問いかけながら、できるだけいろいろな方向から考える。
自分の主張に対する他者からの疑問を予想し、それに対する意見を考える。
- ④ 文章全体の流れを考える
論点は何か、意見は明確か、論理に飛躍はないか。
- ⑤ 最適な段落構成を考える
〈目安〉400字→3段落 / 600字→3～4段落 / 800字→3～5段落
- ⑥ 小論文を書き、読み返し、推敲する

分析力や思考力などが必要とされるのは、小論文試験に限ったことではありません。大学入学共通テストなどのペーパーテストでも、最近では、知識を問うだけでなく分析力や思考力が必要な問題が多くなってきています。小論文試験を受験しない人も、そういった力をつけるために取り組んでみてはどうでしょうか？

◆ 総合型選抜（AO入試）・学校推薦型選抜（推薦入試）の受験について

～2年生は、志望理由書の作成を学年末考査後からの「柏葉」の時間に行います～

AO入試・推薦入試の準備が始まっています。準備にあたってのポイントをまとめてみました。

(1) 受験先の学校が知りたいこと = 「あなたの『過去』『現在』そして『未来』」

- ① 過去 あなたがこれまで頑張ってきたことは何ですか？
- ② 現在 今、あなたはなぜ他の学校ではなくこの学校を希望するのですか？
なぜこの学部・学科なのですか？
- ③ 未来 あなたの将来の夢は何ですか？目標は何ですか？
あなたの夢は社会とどう繋がっていますか？



(2) 鹿児島市内の医療系専門学校の面接についての情報をお伝えします。

【質問内容】志望理由（〇〇になりたい理由、入学したい理由）・自己PR

高校生活について、部活動、得意・不得意科目、入学後の抱負

医療人としてのあるべき姿、今後の〇〇が果たす役割

最近の医療事情について（例：医療事故・院内感染・医療技術の向上）

【特に重視するポイント】言葉遣い・身だしなみ・医療人としての熱意

【最後に】医療人はいかなる状況にあっても正確な判断を瞬時に行わなければなりません。正確な理由を述べるのが大切です。少し考えても分からない質問は分からないと答えることも医療人としては、とても大切です。

◆ 視野を広げよう！ ～先輩からの手紙を参考に～

進路選択とは決して「狭めていくこと」ではなく、ある分野（視点）を究めることによって、新しい視点が「広がること」です。文理選択、コース選択、学部・学科研究にも当てはまります。

進路室前廊下の掲示板に、昨年度の卒業生から担任の先生へ届いた手紙のコピーを掲示しました。大学受験では第一志望に不合格になりましたが、視野を広げて現在の進学先で、前向きに学校生活に取り組んでいこうとする先輩の手紙を参考にしてくださいね。